

2014年9月24日～28日 宮古市及び山田町、支援コンサートのご報告

「出会いの奇蹟と宝物の時間」

◆23日 夕方新幹線で東京に移動。 夜、品川からの夜行バスにて宮古へ移動。

◆24日朝7時 宮古着。



3.11 いわて教会ネットワークのスタッフとして活動しておられる宮古コミュニティチャーチの岩塚先生が駅まで迎えに来てくださり、朝食としばしの休息の後、午後から崎山地区でのコンサート。宮古社会福祉センターとの協力で今年の4月から始まった集会だそうです。

震災後比較的早く家を建てられた皆さんの交流の場とのことで、市内の消防団の2階のスペースでの集まりでした。

40分ほどのコンサートの後、大急ぎで山田町の豊間根仮設住宅へ移動。

こちらは仮設住宅の集会所での1時間ほどのコンサートでした。

終了後、参加者の皆さんとの歓談。



←豊間根仮設の皆さんと歓談



←豊間根仮設で頂いた綿布の草鞋

河南仮設→



◆25日は、午前中、Kさん訪問。Kさんは、仮設から中古物件に引っ越された方。

午後から、グリーンピアテニスコート仮設住宅で35分ぐらいのコンサート。

終了後急いで移動、田老のデイサービスで30分のコンサート。

その後、田老の三王岩や港の津波のあとを見学。



二中の仮設に寄ってNさん（男性）のコーヒーを飲ませていただきました。

◆26日、午前中、河南仮設でのコンサート。1時間余り。

前日訪問したKさんが来て下さいました。積極的にスタッフのお手伝いをして下さり、今後も参加したいとのことでした。

午後、NHさんの学びの後のティータイムに参加。

◆27日、午前中、山田町のさくら山老人ホームで1時間のコンサート。

震災時海の近くにあったホームで、70名以上の入居者の方と15名以上の職員合わせて90名あまりの方が亡くなられ





た施設。場所を移して今年の6月に再建されたばかりだそうです。

午後、山田町の「とっと」という仮設のお店の「山田湾ベーカリー」でランチ。

海鮮を焼きながら食べられるスペースなど賑わっていました。

そのあと、山田町の「いっぽいっぽ」というカフェスペースへ。

「いっぽいっぽ」は3.11 いわて教会ネットワークが運営している交流スペースです。

お店だけを見るととてもおしゃれな雰囲気ですが、まだ周りは右端の様な状況です。



◆28日、教会（礼拝）での特別賛美。（↓左）



25日にコーヒーを飲んで交わりをしたNさん、また26日、学びをされたNHさんが来て下さいました。

午後、二中の仮設（写真右）でコンサート。ここは当初予定していなかったのですが、25日、Nさんとの交わりをした帰り、岩塚先生のアイデアで急遽追加されたコンサートでした。

28日夜、盛岡に移動。盛岡聖書バプテスト教会で他の拠点で奉仕しているスタッフや教会の青年たちと交流。

28日、夜行バスで盛岡から東京に移動。29日朝、東京着。東京から新幹線で移動。帰西。

◆どの会場も、本当にあたたかく迎えて頂き、宝物のような時間を過ごさせて頂く中で、一つ一つの出会いが奇蹟だと思えました。

皆さん、まだまだ問題を抱えておられるのですが、それでも、前に向かって進んでおられる姿に、わたしの方がたくさん励ましを頂きました。

今年、こうして岩手に行かせて頂いたことを感謝するとともに、また続けて、東北を訪問させて頂きたいという思いを新たにしました。

皆さんの背後でのお祈りにも心から感謝します！！

